

# 刊警城時報

日十二  
編輯發行 人岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
發行所 警城時報社  
一部金貳錢 一月金卅錢  
廣告料 一行二十字五錢  
日刊(日曜祝祭日)日休刊

## 今年こそ大豊作 昭和八年に匹敵する 素晴らしい發育ぶり

今年こそは豊作……と何度素晴らしい發育振りをだ。更  
か口にされた郡下の稲作はに適度の驟雨もあつて従來  
天候の快調つきにより益成績の香ばしくなかつた高  
々良好な發育を見せ現在早冷地帯の山間部も普通地方  
稲は乳熟期、中稻は穂揃ひ並の收穫があるものと見ら  
晩稲は出穂にあつて何れもれてゐる。農會ではこの調  
好調を示し、草丈の伸びも子でゆくと昭和八年の大豊  
真ければ分蘗もよく、病虫害にも匹敵する收穫がある  
害の心配も更にないと云ふものと見て居る。

## 江名折戸海岸に 大ミールを建設

### 小野晋平氏等の計画

小名濱町長縣會議員小野晋の私設警官は十一時迄に本  
平氏を中心に石城各濱の漁業に勢揃ひ柴田署長指揮の  
業家が協力し江名折戸海下に平、小名濱、湯本、内  
岸に大ミール工場を建設す郷の四班に分れ今晩三時迄  
る計画を進めてゐるが、之實地犯罪検案に當つたが犯  
が實現すれば捕を主とする人皆無であつた、二十日午  
漁業家の利益が非常に増加前十時から小名濱海岸で柴  
するので大いに期待されて田署長の訓示講演があつた  
る。

## 非常召集

平警察署の非常召集は十九本月初旬より数回協議を重  
日夜行はれたが九時二十分を以て、今般村及び村  
發令と共に全管内七十余名内三炭礦を打つて一丸とし

## 防護團

好問村では防空演習に關し  
好問村では防空演習に關し

## 舊盆に際し 助成會で救ひの手

### 平町で百戸に百三十圓

平町社會事業助成會では既  
報の如く舊盆に際し佛の供  
養も出來ぬ哀れな階級を救  
濟する事となり各區の要救  
濟者を取り纏め申出であるが  
目下の處長橋町の九戸が最  
も多く、立町、鎌田等が判  
ればその總數百戸、三百四  
十名位に上るものと見られ  
て居る。給與金は一名五十  
錢その總額百三十圓とな  
り來る二十六日頃一齊に  
ラ撤かれること。

## 小林主事轉勤

平郵便局技手小林太一氏は  
仙臺逕信局に轉じ後任とし  
て盛岡局から渡邊三郎氏來  
任する

## 謝恩福引デー

四倉町海水浴場賣店組合で  
は二十六日謝恩福引を行ふ  
たので私文書偽造業務横領

## 氣狂ひ女 行衛不明

伊達郡森江野村農彦次郎妻  
佐久間ツヨ子(三三)は多少精  
神に異状を呈してゐたが本  
になつたが、縣より指示  
された演練課目の外に防火  
防衛、救護作業等行事を加  
へた相當大がかりなもので  
團員は約四百名、費用は各  
資材其他で約三百圓の豫算  
出でた

## 植田理髮總會

植田町理髮業組合は十九日  
植田署樓上に定期總會を開  
催した

## 鎌田の 燈籠流し

初秋の情緒豊かな鎌田の燈  
籠流しは愈々來月五日に迫  
つたので地元青年分團では

## 一徳白石の調書 二千枚を越ゆ

### 愈々検事局送り

昨報一稀代の大詐欺漢一徳  
合資會社平支店長白石隆雄  
(六三)は平署に檢舉されて以  
來一ヶ月に亘る峻烈な取調  
に包みきれず一切を自白し  
平署の筋向ひに堂々と二

總合會社平支店の看板  
を、げ外支店を十數名  
雇つて十、二十、三十、  
四十錢の四種の日掛金  
で物品販賣又は貯金額以  
上を貸付けると言葉巧に  
平地方を初め茨城縣湊町  
方面まで加入者三千三百  
余名を募集、その金額二  
萬九千八百圓でこれを  
横領、東京、日光等の見  
物遊山等に消費した外  
臺市で經營してゐたニ  
貯金の着服金七千圓  
を補填せんとしてゐたが  
平署が怪しと覗み内偵を  
開始したのに驚愕し損  
のため金策を装ひ仙臺  
市柳町の知人大山方に身  
を隠してゐたものである  
白石は元宮城縣下小學校  
教員を二十年も勤め同縣  
沼小學校長を最後に退職  
後小名濱三に對し來る二  
仙臺市の各保險會社の主  
次長を轉々と渡り歩き後  
の公賣を行ふが、小川江  
市でニ、貯金會社の主  
任となつて多額の金を横  
領したが、當時仙臺署の  
に對し、當時仙臺署の取  
に對し、當時仙臺署の取  
に對し、當時仙臺署の取

實れ、秋一立秋を過ぎてか  
らは氣候的にも觀念的にも  
秋となつたが、二、三は  
平地方は十八日朝が十五  
三分、きのふ十九日朝は  
五度八分(華氏六十度四  
といふ八月中の氣温として  
は少々低過ぎる温度を示し  
た。寧ろ涼しいといふ言葉  
より寒かつたといふ方が適  
當だが、餘りにも變化的  
な氣候に市民は一寸驚いて  
ゐる、しかし日中はまた相  
當に灼け十九日の最高温度  
は午後三時の二十八度九分  
華氏八十三度)で夏の氣分  
はまだ深い、この調子で  
ぐんぐん秋が深まつて行

## 朝夕はメツキリ 涼しくなりました

### 「秋の型です」測候所發表

「今まで海上にあつた  
高氣壓が北上して北日本  
から千島方面に移動した  
爲め風が北寄りに變り、  
立を依頼された印刷代金  
は去る十二月午前八時頃  
取立を依頼された印刷代金  
三圓五十錢を携帶四日サ  
つた事もあり主家では手  
を

## 印刷職工 取立金横領

小名濱町大字古港緑川印刷  
所方印刷職工丹野堅信(三  
は去る十二月午前八時頃  
取立を依頼された印刷代金  
三圓五十錢を携帶四日サ  
つた事もあり主家では手  
を

## 滞納整理

小川江の  
濱町役場より取立てた十二  
圓五十錢を携帶四日サ  
つた事もあり主家では手  
を

御中元の御贈答に  
商品券  
御利用下さるまで  
ふかや洋服店 平 三  
電話 203

暑中御見舞申上マス  
大阪ヨリ皆様ノ御壯健ヲ御祈申マス  
本部大阪  
天光軒 満月

夜  
胃腸科  
内科  
花柳病科  
性病科  
泌尿器病科  
皮膚病科  
肛門病科

門專  
院醫科性病腸胃村松  
(番七〇一電) 町南町平

療

### 小口金融開始御案内

最近小口金融ノ御申込が増加シテ参リマシ  
タノデ此度其業務ヲ開始シ特別ニ便宜ヲ御  
計ヒ致シマス精々御利用願ヒマス

取扱ノ大要ハ左ノ通りデス

- 一、金額 五拾圓以上五百圓迄
- 一、期限 一ケ年以内
- 一、償還方法 月賦拂或ハ一時拂
- 一、申込資格 商工業者俸給生活者
- 一、區域 平町及附近
- 一、條件 保證人二名、擔保付ハ條  
件簡易

其他詳細ハ何卒御問合セ下サイ  
昭和十一年八月  
株式 七十七銀行平支店  
電話 二三一 番  
四一四 番

### 御挨拶

酷暑を迎へます折柄皆様様の御健康を御祈り申し上げます

扱て私儀水野化粧院を開業致しましてから恰度今年で七周年を迎えました。微力の私共では到底迎へ得ざる永い歳月で御座います。此れ偏に皆様の御引立によるたまものと厚く御禮の言葉を申述べ次第で御座います。今度これが記念に皆々様への一層の御努めのために

オゾン理容器一臺を備へつけました。この理容器は近代美容術の機械化で御座います。御使用後の御満足は決して申込もない事と固く御誓ひ致します。是非一度御試しあられます事をお願ひ致します。是非七周年を迎へるに當り御最負の御挨拶申し上げます。次第、御座ります。

昭和十一年七月

水野化粧院  
主 水野冬子  
電話 一四〇 番  
四軒町水野商店五二五番

### 婦人洋傘

切サービス!!  
見サービス!!  
大サービス!!

御座候御待  
御座候御待  
御座候御待  
御座候御待

御得意の皆々様方に

電話 一四〇 番  
四軒町水野商店五二五番

弊院儀今般都合により三丁目元郵便局裏川岸通りへ移轉仕り従前通り診療に從事仕候間右謹告仕り候

七月廿五日  
明雲堂眼科醫院  
新妻 幸之助  
電 六六九番

### 耳鼻咽喉科

平田町(電六九一)  
病室完備 自炊ノ便アリ  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉

### 安齋醫院

入院隨意  
平町田町  
醫學士 黑澤廣

### 隆德院新益に相當り候處提灯その他供物等御贈與一切御辭退申上度く乍勝手以紙上御願申上候

平町紺屋町  
加納邦武

### 吸入用酸素 純度 99%

和洋銅鐵金物問屋  
諸橋久太郎  
電話 九九番

平衡器  
体温計  
寒暖計

秤ノ取締 鍾系・修覆致シマス  
寫真機  
材料一式

關内藥局  
電話 四〇番

### 安齋醫院

外科 内臓外科  
工ツキス光線科  
産婦人科  
院長 安齋徹  
醫學士 黑澤廣  
電話 四七五

### 隆德院新益に相當り候處提灯その他供物等御贈與一切御辭退申上度く乍勝手以紙上御願申上候

平町紺屋町  
加納邦武

### 外科 花柳病 門

入院隨意  
平町六丁目  
木村外科醫院  
電話 三〇九番

食事  
喫茶  
酒場

平町・平  
(二五三電)

イワキサロシ  
男給の店

### 井坂醫院

産科  
婦人科  
花柳病科  
平町田町(電話五五九番)

### 隆德院新益に相當り候處提灯その他供物等御贈與一切御辭退申上度く乍勝手以紙上御願申上候

平町紺屋町  
加納邦武